

# 窓

京都新聞 令和2年(2020年)5月20日(水)

## 外出自粛 姉妹で退屈せず

木津川市・井上奈津希(大学生・20)

新型コロナウイルスの影響で学校が休校となり、家で家族、特に姉妹と過ごす時間が増えた。父と母は仕事の場合、出勤を自粛する

という事にはいかず、普段通りの出勤をしている。連日のニュースを見ると、父と母のことが気がかりでならない。

一方、私たち姉妹は1日のほとんどを家で過ごしている。家で過ごす中で、改

めて姉妹の存在を大事に感じている。私には2人の妹がいて、どちらも高校生で部活に奮闘している。

普段は私も学校やバイトで帰りが遅くなるので、今のように、長い時間を共にすることは少ない。そのため

皆、家にいることには、いまだに慣れない。しかし、

家に姉妹がいるということに退屈することはない。話をしたり、ゲームをしたり、勉強をしたり…。家でできることを探して毎日を送っている。これらの楽しみは、

きつと1人では得ることができなかつただろう。

子どもの頃は、よくぶつ

かり合い、けんかもした。今では、それもすっかりなくなり趣味なども共有する仲になった。きつと年を重ねることに、姉妹の大切さを、より身をもって感じるようになるのだろう。